

第2 全般の概要 <地方公営企業法非適用企業>

1 地方公営企業事業数

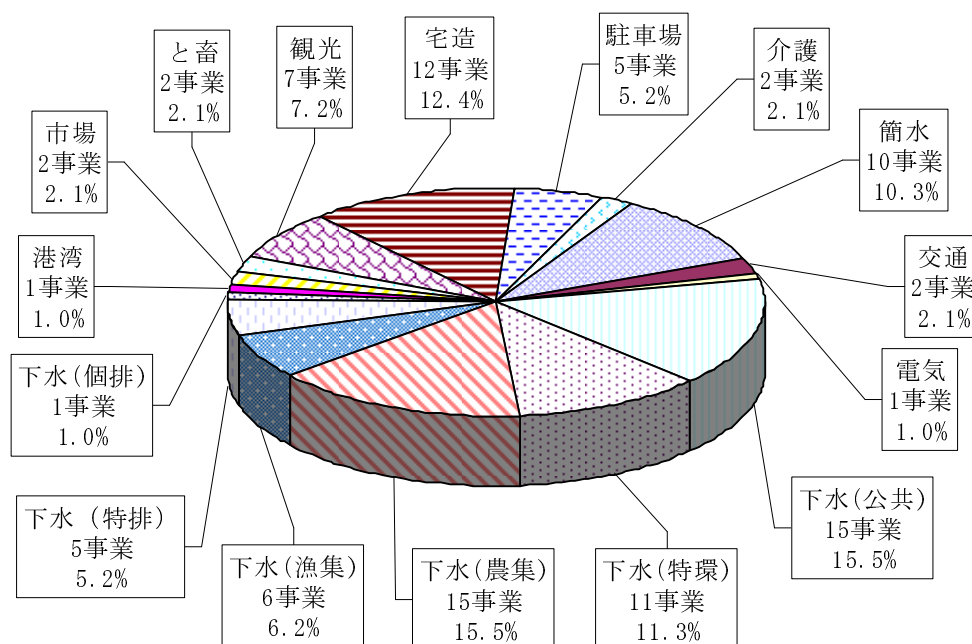
平成23年度末の地方公営企業法の非適用事業は97事業で、平成22年度末に比べて4事業減少した。

第1表 地方公営企業（法非適用）事業数の状況

業 種	企 業 数		
	平成21年度	平成22年度	平成23年度
簡易水道事業	10	10	10
交通事業	2	2	2
電気事業	1	1	1
公共下水道事業	16	16	15
特定環境保全公共下水道事業	12	12	11
農業集落排水施設	16	16	15
漁業集落排水施設	6	6	6
特定地域生活排水処理施設	5	5	5
個別排水処理施設	1	1	1
港湾整備事業	1	1	1
市場事業	2	2	2
と畜場事業	2	2	2
観光施設事業	7	7	7
宅地造成事業	11	12	12
有料道路事業	1	1	0
駐車場整備事業	5	5	5
介護サービス事業	2	2	2
計	100	101	97

※有料道路事業、駐車場事業、介護サービス事業は、公営企業会計に属さないものであるが、ここでは決算統計にあわせ、公営企業に含んでいる。以下の資料等においても同じ。

第1図 地方公営企業事業数



第2表 業種別内訳

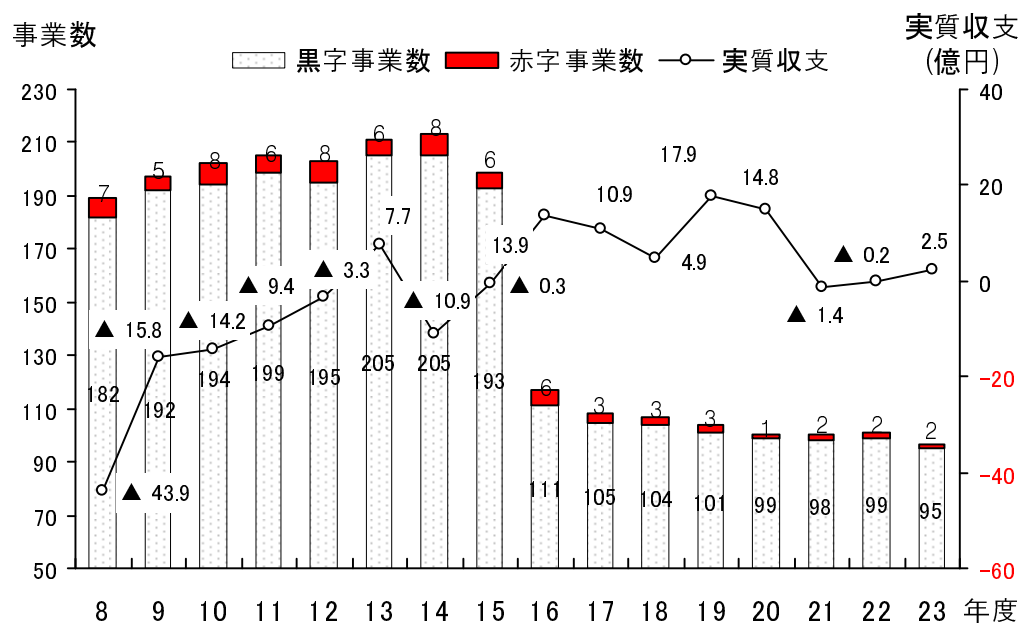
業 種		事業数	団 体 数
簡易水道事業		10	広島市, 三原市, 三次市, 庄原市, 廿日市市, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島町, 大崎上島町, 神石高原町
交通事業 (船舶運航)		2	尾道市, 大崎上島町
電気事業		1	北広島町
下 水 道 事 業	公共	15	竹原市, 三原市, 尾道市, 福山市, 府中市, 三次市, 庄原市, 東広島市, 廿日市市, 安芸高田市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 北広島町
	特定環境保全	11	三原市, 尾道市, 府中市, 三次市, 庄原市, 東広島市, 廿日市市, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島町, 大崎上島町
	農業集落排水	15	呉市, 三原市, 尾道市, 福山市, 三次市, 庄原市, 大竹市, 東広島市, 廿日市市, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島町, 大崎上島町, 世羅町, 神石高原町
	漁業集落排水	6	呉市, 三原市, 尾道市, 福山市, 大竹市, 大崎上島町
	特定地域生活排水処理	5	三原市, 三次市, 庄原市, 東広島市, 安芸高田市
	個別排水処理	1	安芸太田町
港湾整備事業 (施設利用)		1	呉市
市場事業		2	広島市, 呉市
と畜場事業		2	広島市, 福山市
観光施設事業	休養宿泊	3	広島市, 呉市, 江田島市
	索道	1	尾道市
	その他	3	広島市, 福山市, 廿日市市
宅地造成事業	臨海土地	3	広島市, 呉市, 江田島市
	その他	9	広島市, 呉市, 三原市, 福山市, 庄原市, 大竹市, 東広島市, 廿日市市, 神石高原町
有料道路事業		—	
駐車場事業		5	広島市, 呉市, 三原市, 尾道市, 福山市
介護サービス事業		2	呉市, 三次市
計		97	

注：下線の事業は、前年度からの異動のあった事業である。

2 経営状況の推移

- (1) 平成23年度の実質収支は2億49百万円であり、黒字となった。
- (2) 実質収支が赤字となった事業数は2事業であり、前年度と同じであった。

第2図 事業数及び実質収支の推移



3 収支の状況（全体）

- (1) 収益的収支の総収益は 377 億 9 百万円で、前年度に比べ 2 億 5 百万円（0.5%）減少しており、うち料金収入は 202 億 97 百万円で、前年度に比べ 1 億 17 百万円（0.6%）増加した。
また、総費用は 227 億 62 百万円で、前年度に比べ 5 億 32 百万円（2.3%）減少した。
- (2) 資本的収支の収入は 376 億 30 百万円で、前年度に比べ 43 億 70 百万（13.1%）増加しており、うち地方債は 208 億 78 百万円で、前年度に比べ 77 億 38 百万円（58.9%）増加した。
また、支出は 525 億 22 百万円で、前年度に比べ 42 億 77 百万円（8.9%）増加しており、うち地方債償還金は 320 億 15 百万円で、前年度に比べ 94 億 14 百万円（41.7%）増加した。
- (3) 実質収支は、2 億 49 百万円の黒字であり、前年度に比べ 2 億 61 百万円（2,175.0%）増加した。
黒字となった事業における黒字額は、7 億 65 百万円で、前年度に比べ 3 億 3 百万円（65.6%）増加した。
赤字となった事業における赤字額は、5 億 16 百万円で、前年度に比べ 42 百万円（8.9%）増加した。

第3表 決算の状況（全体）

（単位：百万円，％）

年 度 項 目		平成23年度 ①	平成22年度 ②	差 引 ①－②	対前年増減率 (①/②-1) × 100
収益的収支	総収益 A	37,709	37,914	△ 205	△ 0.5
	うち営業収益	23,789	23,668	121	0.5
	うち料金収入	20,297	20,180	117	0.6
	うち営業外収益	13,920	14,246	△ 326	△ 2.3
	うち他会計繰入金	13,136	13,013	123	0.9
	総費用 B	22,762	23,294	△ 532	△ 2.3
	うち営業費用	14,552	14,531	21	0.1
	うち営業外費用	8,210	8,762	△ 552	△ 6.3
	収支差引（A－B）	14,947	14,620	327	2.2
資本的収支	資本的収入 C	37,630	33,260	4,370	13.1
	うち地方債	20,878	13,140	7,738	58.9
	うち他会計繰入金	7,761	8,281	△ 520	△ 6.3
	資本的支出 D	52,522	48,245	4,277	8.9
	うち建設改良費	19,584	22,875	△ 3,291	△ 14.4
	うち地方債償還金	32,015	22,601	9,414	41.7
	収支差引（C－D）	△ 14,892	△ 14,985	93	0.6
実質収支		249	△ 12	261	2,175.0
黒字額		765	462	303	65.6
赤字額		516	474	42	8.9
総事業数		97	101	△ 4	△ 4.0
うち赤字事業数		2	2	0	－

（注）項目毎に百万円単位で四捨五入しているため、差引、計において一致しない場合がある。

4 収支の状況（業種別）

（１）実質収支が黒字となった事業数は、下水道事業５３，簡易水道事業１０，宅地造成事業１０，観光施設事業７，その他１５の計９５事業となり，黒字額は７億６５百万円で，前年度に比べ３億３百万円（６５．６％）増加した。

黒字事業の黒字額は，下水道事業が３億２０百万円で全体の４１．８％，次いで宅地造成事業が２億円で２６．１％を占め，駐車場事業が１億７４百万円で２２．７％と続いている。

（２）実質収支が赤字となった事業数は，宅地造成事業２事業となり，赤字額は５億１６百万円で，前年度に比べ４２百万円（８．９％）増加した。

第４表 決算の状況（業種別）

（単位：百万円）

事業 項目		全事業	簡水	交通	電気	下水	港湾	市場	と畜	観光	宅造	駐車場	介護
収益的収支	総収益 A	37,709	2,180	106	47	25,271	392	1,777	991	1,384	4,178	1,363	21
	うち営業収益	23,789	1,534	11	47	14,755	385	1,532	173	502	3,657	1,193	0
	うち料金収入	20,297	1,516	11	47	12,189	383	1,235	158	437	3,655	667	0
	うち営業外収益	13,920	645	95	0	10,516	7	244	819	882	521	170	21
	うち他会計繰入金	13,136	609	21	0	10,266	0	102	814	841	429	44	9
	総費用 B	22,762	1,885	105	18	15,762	123	1,761	990	1,055	541	509	13
	うち営業費用	14,552	1,433	105	11	9,064	97	1,486	905	948	122	383	0
	うち営業外費用	8,210	453	0	7	6,698	26	275	85	107	420	126	13
	収支差引（A－B）	14,947	295	1	29	9,509	269	16	1	329	3,637	854	8
資本的収支	資本的収入 C	37,630	2,776	0	0	22,719	337	750	284	98	10,644	0	22
	うち地方債	20,878	839	0	0	10,059	337	82	6	0	9,555	0	0
	うち他会計繰入金	7,761	1,354	0	0	4,946	0	565	278	98	498	0	22
	資本的支出 D	52,522	3,105	0	25	32,367	605	765	286	435	14,065	839	30
	うち建設改良費	19,584	1,955	0	0	16,587	110	190	12	60	647	23	0
	うち地方債償還金	32,015	1,138	0	25	15,762	494	574	274	338	12,653	727	30
	収支差引（C－D）	△ 14,892	△ 329	0	△ 25	△ 9,648	△ 268	△ 15	△ 2	△ 337	△ 3,421	△ 839	△ 8
実質収支		249	34	2	5	320	2	0	1	26	△ 316	174	0
黒字額		765	34	2	5	320	2	0	1	26	200	174	0
赤字額		516	0	0	0	0	0	0	0	0	516	0	0
総事業数		97	10	2	1	53	1	2	2	7	12	5	2
うち赤字事業数		2	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－

（注）項目毎に百万円単位で四捨五入しているため，差引，計において一致しない場合がある。

5 他会計繰入金

(1) 一般会計等から地方公営企業へ繰り出された他会計繰入金の額は、収益的収入に 131 億 36 百万円、資本的収入に 77 億 61 百万円で合計 208 億 97 百万円となり、前年度に比べ、あわせて 3 億 96 百万円 (1.9%) 減少した。

(2) 業種別にみると、下水道事業が 152 億 12 百万円で全体の他会計繰入金の 72.8%，簡易水道事業が 19 億 63 百万円で 9.4%，と畜場事業が 10 億 92 百万円で 5.2%，観光事業が 9 億 39 百万円で 4.5%，宅造事業が 9 億 27 百万円で 4.4%を占めている。

他会計繰入金を前年度と比較してみると、下水道事業が 2 億 75 百万円 (1.8%)，宅地造成事業が 1 億 60 百万円 (14.7%)，観光事業が 39 百万円 (4.0%)，と蓄事業が 4 百万円 (0.1%) 減少している。

逆に、増加は、簡易水道事業が 1 億 26 百万円 (6.9%)，市場事業 14 百万円 (2.1%) となっている。

第 5 表 法非適用企業の他会計からの繰入金

(単位：百万円，%)

項目 業種	平成 2 3 年度			平成 2 2 年度			対前年 増減率 (C/F-1) ×100	C 及び F の 構 成 比	
	収益的 収入へ の繰入 金 A	資本的 収入へ の繰入 金 B	計 (A+B) C	収益的 収入へ の繰入 金 D	資本的 収入へ の繰入 金 E	計 (D+E) F		23年度	22年度
簡 水	609	1,354	1,963	655	1,182	1,837	6.9	9.4	8.6
交 通	21	0	21	23	—	23	△ 8.7	0.1	0.1
電 気	0	0	0	—	6	6	△ 100.0	0	0
下 水	10,266	4,946	15,212	9,806	5,681	15,487	△ 1.8	72.8	72.7
港 湾	0	0	0	—	—	—	—	0	—
市 場	102	565	667	98	555	653	2.1	3.2	3.1
と 畜	814	278	1,092	818	278	1,096	△ 0.4	5.2	5.1
観 光	841	98	939	879	99	978	△ 4.0	4.5	4.6
宅 造	429	498	927	607	480	1,087	△ 14.7	4.4	5.1
道 路	—	—	0	44	—	44	△ 100.0	0	0.2
駐車場	44	0	44	50	—	50	△ 12.0	0.2	0.2
介 護	9	22	31	32	—	32	△ 3.1	0.2	0.2
計	13,136	7,761	20,897	13,012	8,281	21,293	△ 1.9	100.0	100.0

(注 1) 項目毎に百万円単位で四捨五入しているため、差引、計において一致しない場合がある。

(注 2) 下水道事業の収益的収入の繰入金には、雨水処理負担金を含んでいる。